



2017年3月期 第3四半期決算概況資料

2017年2月8日

九州旅客鉄道株式会社



KYUSHU RAILWAY COMPANY



目次



I	決算ハイライト	3
II	2017年3月期第3四半期 決算実績	5
III	2017年3月期 通期業績予想	15

I 決算ハイライト

2017年3月期第3四半期 連結決算ハイライト【対前年】

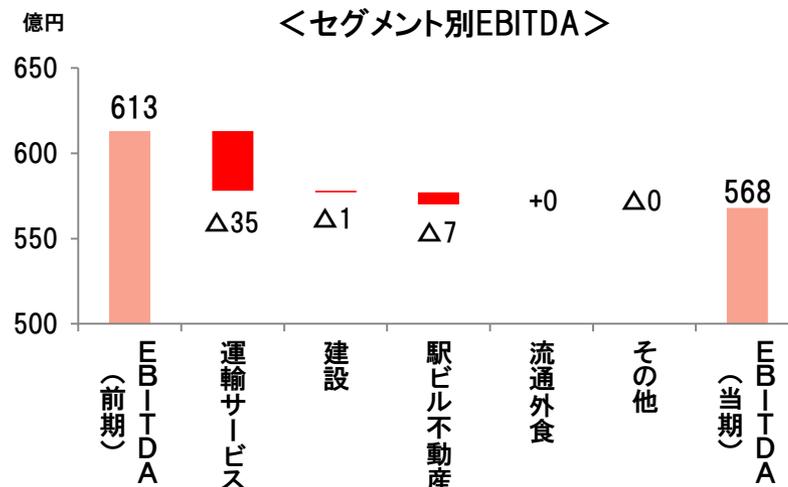
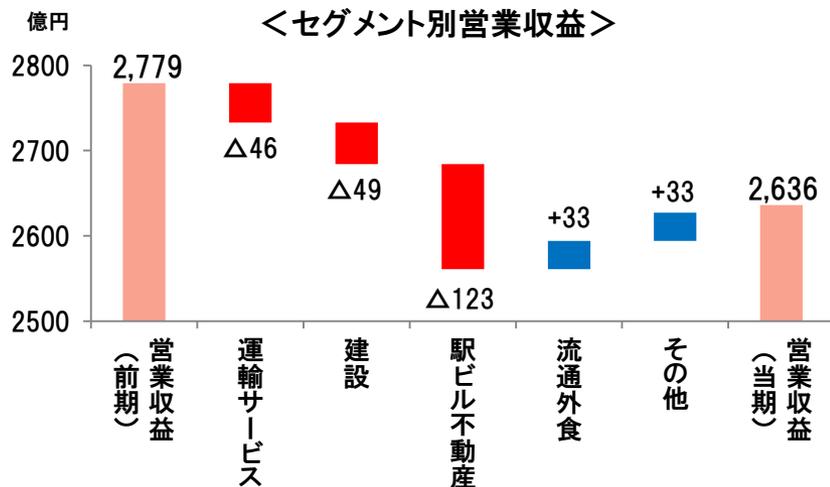


- 営業収益は、熊本地震の影響等による鉄道旅客運輸収入の減やマンション販売収入の減などにより**減収**
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、熊本地震等に係る災害損失引当金の計上などにより**減益**
- EBITDAは、熊本地震の影響等による鉄道旅客運輸収入の減などにより**減少**

(億円)

	前期累計実績	当期累計実績	対前年	
営業収益	2,779	2,636	△ 143	94.8%
営業利益	239	462	223	193.5%
経常利益	338	476	137	140.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	496	338	△ 158	68.1%
EBITDA	613	568	△ 45	92.6%

(※) 当期EBITDA=営業利益+減価償却費、前期EBITDA=営業利益+減価償却費+経営安定基金運用収益



Ⅱ 2017年3月期第3四半期 決算実績

連結損益計算書



(単位:億円)

	2016年3月期 3Q累計実績 A	2017年3月期 3Q累計実績 B	対前年		主な増減要因
			増減 B-A	比率(%) B/A	
営業収益	2,779	2,636	△ 143	94.8%	マンション販売収入の減△145 鉄道旅客運輸収入の減△36
営業費用	2,540	2,173	△ 366	85.6%	減価償却費(JR九州)の減△167 マンション販売原価の減△116
営業利益	239	462	223	193.5%	—
営業外損益	99	14	△ 85	14.3%	経営安定基金運用収益の減△99
経常利益	338	476	137	140.7%	—
特別損益	406	△ 54	△ 460	—	経営安定基金資産売却益の減△408 熊本地震による災害経費の増△91
親会社株主に帰属する 四半期純利益	496	338	△ 158	68.1%	—
EBITDA	613	568	△ 45	92.6%	鉄道旅客運輸収入の減△36

(※1)2016年3月期第3四半期以前の数値は監査法人によるレビューを受けておりません。

(※2)当期EBITDA=営業利益+減価償却費、前期EBITDA=営業利益+減価償却費+経営安定基金運用収益
以下、全て同様です。

セグメント情報【サマリー】



(単位:億円)

	2016年3月期 3Q累計実績 A	2017年3月期 3Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	2,779	2,636	△ 143	94.8%
運輸サービス	1,335	1,289	△ 46	96.5%
建設	477	427	△ 49	89.7%
駅ビル・不動産	487	363	△ 123	74.6%
(うち不動産賃貸)	323	344	21	106.7%
流通・外食	720	754	33	104.7%
その他	412	445	33	108.0%
EBITDA	613	568	△ 45	92.6%
運輸サービス	308	272	△ 35	88.5%
建設	26	25	△ 1	95.2%
駅ビル・不動産	225	217	△ 7	96.7%
(うち不動産賃貸)	203	223	19	109.4%
流通・外食	37	37	0	100.6%
その他	25	24	△ 0	97.1%

(※)各セグメントの数値はセグメント間取引消去前です。
以下、全て同様です。

セグメント情報①



◆運輸サービスセグメント

(単位:億円)

	2016年3月期 3Q累計実績 A	2017年3月期 3Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	1,335	1,289	△ 46	96.5%
営業利益	13	253	240	—
EBITDA	308	272	△ 35	88.5%

◆建設セグメント

(単位:億円)

	2016年3月期 3Q累計実績 A	2017年3月期 3Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	477	427	△ 49	89.7%
営業利益	20	19	△ 1	92.4%
EBITDA	26	25	△ 1	95.2%

セグメント情報②



◆ 駅ビル・不動産セグメント

(単位: 億円)

	2016年3月期 3Q累計実績 A	2017年3月期 3Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	487	363	△ 123	74.6%
（うち不動産賃貸）	323	344	21	106.7%
営業利益	165	154	△ 10	93.5%
（うち不動産賃貸）	144	160	15	110.9%
EBITDA	225	217	△ 7	96.7%
（うち不動産賃貸）	203	223	19	109.4%

セグメント情報③



◆流通・外食セグメント

(単位:億円)

	2016年3月期 3Q累計実績 A	2017年3月期 3Q累計実績 B	対前年	
			増減	比率(%)
			B-A	B/A
営業収益	720	754	33	104.7%
営業利益	26	25	△ 1	95.4%
EBITDA	37	37	0	100.6%

◆その他セグメント

(単位:億円)

	2016年3月期 3Q累計実績 A	2017年3月期 3Q累計実績 B	対前年	
			増減	比率(%)
			B-A	B/A
営業収益	412	445	33	108.0%
営業利益	18	18	0	100.1%
EBITDA	25	24	△ 0	97.1%

財政状況(連結)



(単位:億円)

	2016年3月期 期末 A	2017年3月期 3Q期末 B	増減 B-A
資産	6,466	6,578	112
流動資産	1,658	2,001	343
固定資産	4,808	4,577	△ 231
負債	3,409	3,193	△ 215
流動負債	1,463	1,205	△ 258
固定負債	1,945	1,988	42
純資産	3,057	3,385	327

自己資本比率	46.4%	50.7%	4.2%
1株あたり純資産(円)	1,876.72	2,083.31	206.59

単体損益計算書



(単位:億円)

	2016年3月期 3Q累計実績 A	2017年3月期 3Q累計実績 B	対前年		主な増減要因
			増減 B-A	比率(%) B/A	
営業収益	1,585	1,419	△ 165	89.6%	マンション販売収入の減△145 鉄道旅客運輸収入の減△36
(うち鉄道旅客運輸収入)	1,129	1,092	△ 36	96.8%	熊本地震の影響等△36
営業費用	1,448	1,052	△ 396	72.6%	—
人件費	405	402	△ 2	99.3%	
物件費	776	549	△ 227	70.7%	マンション販売原価の減△116 新幹線貸付料の減△77
租税公課	48	49	1	102.3%	
減価償却費	218	50	△ 167	23.3%	鉄道事業の減価償却費の減△171
営業利益	136	367	231	269.0%	—
営業外損益	114	35	△ 78	31.3%	経営安定基金運用収益の減△99
経常利益	251	403	152	160.7%	—
特別損益	408	△ 52	△ 461	—	経営安定基金資産売却益の減△408 熊本地震による災害経費の増△92
四半期純利益	448	299	△ 148	66.9%	—

単体損益計算書【再掲】



(単位:億円)

		2016年3月期 3Q累計実績 A	2017年3月期 3Q累計実績 B	対前年	
				増減	比率(%)
				B-A	B/A
鉄道事業	営業収益	1,247	1,206	△ 41	96.7%
	営業費用	1,242	956	△ 286	77.0%
	営業利益	5	249	244	—
関連事業	営業収益	337	213	△ 123	63.3%
	営業費用	206	95	△ 110	46.4%
	営業利益	131	118	△ 13	89.8%

鉄道旅客運輸収入と輸送量の実績



(単位:億円)

運輸収入	2016年3月期 3Q累計実績 A	2017年3月期 3Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
全社計	1,129	1,092	△ 36	96.8%
新幹線	389	372	△ 17	95.6%
定期	20	20	0	101.6%
定期外	369	352	△ 17	95.3%
在来線	739	720	△ 18	97.4%
定期	226	225	△0	99.7%
定期外	513	494	△ 18	96.4%

(単位:百万人キロ)

輸送人キロ	2016年3月期 3Q累計実績 A	2017年3月期 3Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
全社計	7,119	6,973	△ 145	98.0%
新幹線	1,456	1,381	△ 74	94.9%
定期	148	150	2	101.6%
定期外	1,307	1,230	△ 77	94.1%
在来線	5,663	5,592	△ 71	98.7%
定期	3,111	3,118	6	100.2%
定期外	2,552	2,474	△ 77	96.9%

Ⅲ 2017年3月期 通期業績予想

連結業績予想



(単位:億円)

	2016年3月期 通期実績 A	2017年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(11/10) 予想 B	今回(2/8) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	3,779	3,788	3,814	34	100.9%	26
営業利益	208	518	544	335	260.4%	26
経常利益	320	535	563	242	175.7%	28
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 4,330	382	407	4,737	—	25
1株当たり当期純利益 (円)	△ 2,706.81	238.75	254.38	—	—	15.63
EBITDA	691	670	695	3	100.4%	25

連結業績予想【セグメント別】



(単位:億円)

	2016年3月期 通期実績 A	2017年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(11/10) 予想 B	今回(2/8) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	3,779	3,788	3,814	34	100.9%	26
運輸サービス	1,809	1,736	1,759	△ 50	97.2%	23
建設	884	808	782	△ 102	88.5%	△ 26
駅ビル・不動産	620	643	671	50	108.2%	28
流通・外食	962	983	1,001	38	104.0%	18
その他	581	586	606	24	104.3%	20
営業利益	208	518	544	335	260.4%	26
運輸サービス	△ 105	230	231	336	—	1
建設	61	37	46	△ 15	75.4%	9
駅ビル・不動産	204	211	224	19	109.6%	13
流通・外食	34	30	31	△ 3	91.1%	1
その他	24	17	20	△ 4	80.0%	3
EBITDA	691	670	695	3	100.4%	25
運輸サービス	270	262	263	△ 7	97.4%	1
建設	68	43	54	△ 14	78.3%	11
駅ビル・不動産	284	297	309	24	108.7%	12
流通・外食	49	46	49	△ 0	99.6%	3
その他	33	25	28	△ 5	82.5%	3

単体業績予想



(単位:億円)

	2016年3月期 通期実績 A	2017年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(11/10) 予想 B	今回(2/8) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	2,111	2,086	2,118	6	100.3%	32
(うち鉄道旅客運輸収入)	1,501	1,435	1,460	△ 41	97.3%	25
営業費用	2,056	1,682	1,708	△ 348	83.0%	26
人件費	542	—	534	△ 8	98.5%	—
物件費	1,162	—	1,038	△ 124	89.3%	—
租税公課	58	—	61	2	104.4%	—
減価償却費	293	—	75	△ 218	25.5%	—
営業利益	54	404	410	355	757.9%	6
営業外損益	128	40	41	△ 87	31.8%	1
経常利益	182	444	451	268	246.7%	7
特別損益	△ 4,819	△ 53	△ 49	4,770	—	4
当期純利益	△ 4,444	343	350	4,794	—	7

単体業績予想【再掲】



(単位:億円)

	2016年3月期 通期実績 A	2017年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B	
		前回(11/10) 予想 B	今回(2/8) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A		
鉄道事業	営業収益	1,691	1,623	1,647	△ 44	97.3%	24
	営業費用	1,807	1,397	1,420	△ 387	78.6%	23
	営業利益	△ 115	226	227	342	—	1
関連事業	営業収益	419	463	471	51	112.4%	8
	営業費用	249	285	288	38	115.4%	3
	営業利益	169	178	183	13	107.9%	5

将来の見通しに関する記述について



本資料には、JR九州グループの見通し・目標等の将来に関する記述がなされています。

これらは、本資料の作成時点において入手可能な情報、予測や作成時点における仮定に基づいた当社の判断等によって記述されたものであります。そのため、今後、国内外及び九州の経済情勢、不動産市況、各プロジェクトの進捗、法令規制の変化、その他の幅広いリスク・要因の影響を受け、実際の経営成績等が本資料に記載された内容と大きく異なる可能性があることにご留意ください。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR九州ホームページ

「企業・IR・採用」→「IR情報」→「IR資料室」→「決算短信・説明会資料」

<http://www.jrkyushu.co.jp/company/ir/library/earnings/>